



令和6年度 小樽市ふるさとまちづくり協働事業  
助成対象事業の募集に伴う説明会



# 令和6年度小樽市ふるさとまちづくり協働事業 助成対象事業の募集に伴う説明会

1 開会

2 開会挨拶

3 助成対象事業の募集に伴う説明

①協働事業の全体の流れや概要について

②応募書類や選考会について

4 質疑応答

5 閉会

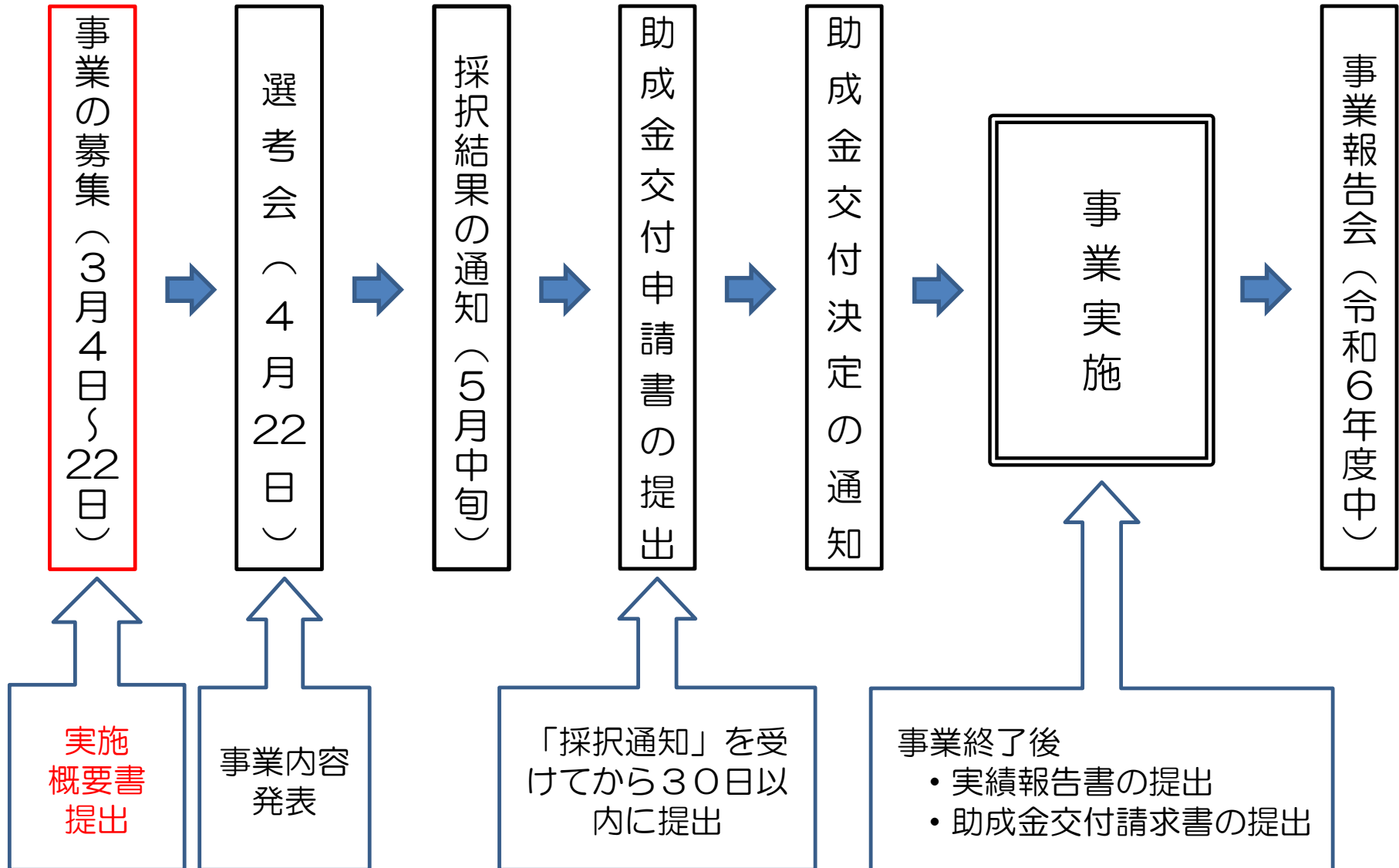
# 事業の概要

「ふるさとまちづくり協働事業」は、市と市民との協働による個性豊かなふるさとづくりを進めるため、主体的に行われる公益性の高い「まちづくり事業」を実施する団体に対し、30万円を上限として助成金を交付する制度です。

なお、この事業の助成金は、小樽のまちづくりを支援する全国の「小樽ファン」から小樽市へ寄せられた寄付金の一部を活用しています。

平成21年度から令和5年度までの15年間で、延べ152事業に対し助成を行っています。

# 事業の流れ



# 対象となる団体

○下記のすべてに該当する団体が対象となります。

- 1 市内に活動拠点を有する団体で、市内に在住し、又は在学する16歳以上の者が5人以上、団体の構成員となっていること。
- 2 助成対象事業を確実に遂行することができると思われる団体であること。
- 3 活動に賛同する市民が加入することができる団体であること。

# 対象となる事業

○下記のすべてに該当する事業が対象となります。

- 1 自ら実施するまちづくりに関する事業であること。
- 2 公益性の高い事業であること。
- 3 市内で行われる事業であること。
- 4 他の財政的な支援を市や公的団体から受けていない事業であること。
- 5 営利を主な目的とした事業でないこと。
- 6 宗教的活動又は政治的活動を目的とした事業でないこと。
- 7 恒例行事としている事業でないこと。
- 8 助成金の交付決定前に実施する事業でないこと。
- 9 市が実施する事業と重複しない事業であること。

# 対象となる経費

○助成対象事業に要する経費が対象となります。ただし、  
下記のもの是对象経費となりません。

- 1 団体の構成員に対する人件費、謝礼及び助成対象事業に直接関係のない旅費
- 2 団体の経常的な活動に要する運営維持費
- 3 飲食に係る経費
- 4 景品や賞品に係る経費
- 5 助成対象事業に直接関係のない備品購入費
- 6 家屋の取得、維持補修、改築等に係る経費
- 7 土地の取得、造成、補償に関する経費
- 8 助成金交付決定前に発生した経費
- 9 上記に挙げるもののほか、助成金を交付することが適当でない  
と認められる経費  
(例) ・講演会の講師等への謝礼・旅費等の一部  
(5万円又は事業費の1/5のどちらか低い金額を超える額)

# 応募に必要な書類について

ふるさとまちづくり協働事業に応募する際は、**下記の書類**をご用意ください。

1. **実施概要書**（様式第1号）
2. **団体の規約等の写し**
3. **団体名簿**（5名以上の氏名・住所・年齢を記載）
4. その他
  - ・事業箇所図
  - ・参考資料（前年度行っていれば、その概要がわかるチラシ・ポスター等）



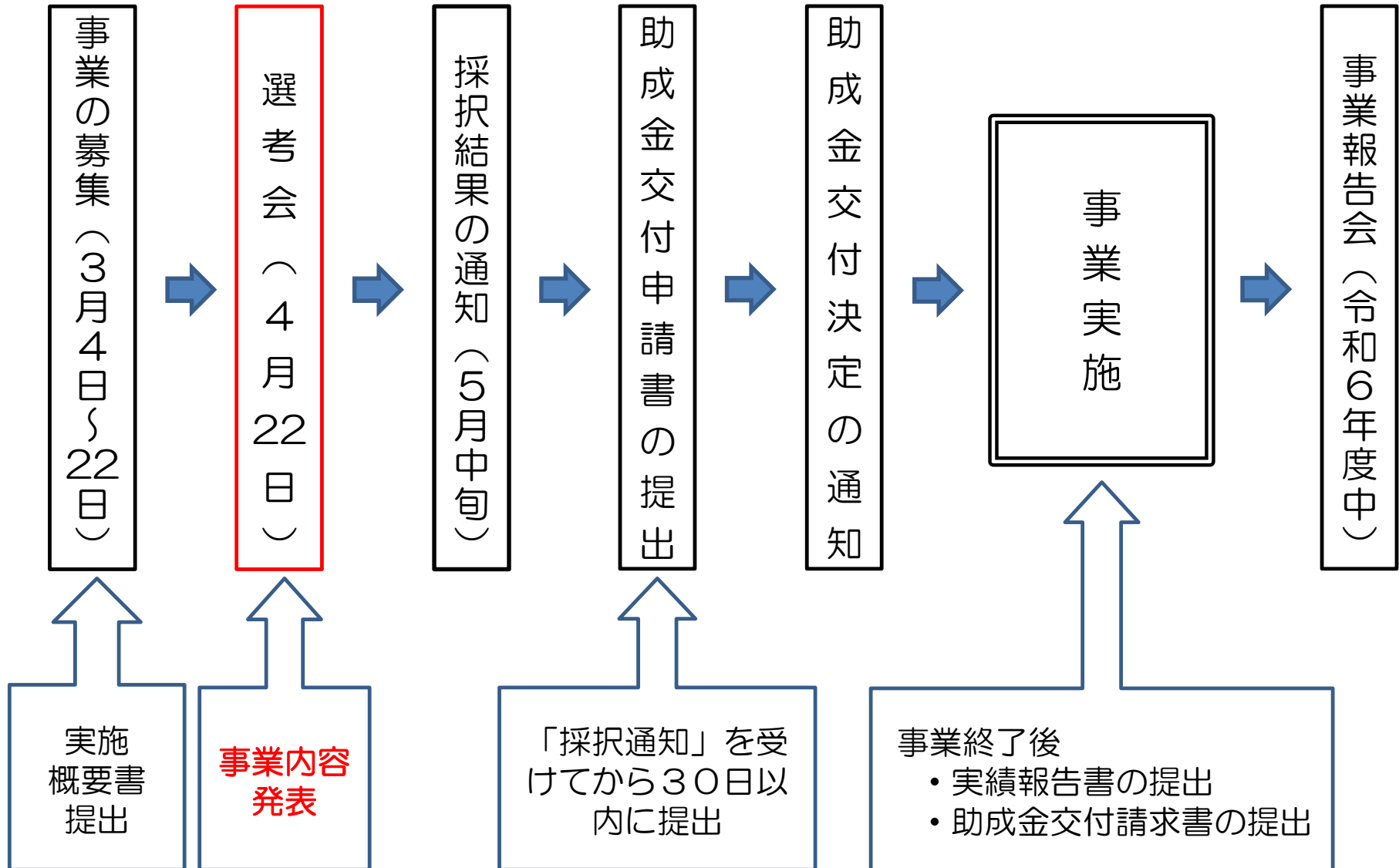
# 募集期間について

- 令和6年度ふるさとまちづくり協働事業の助成対象事業募集期間は次のとおりです。
- 期間内に応募書類を窓口（生活環境部生活安全課）までお持ちください。
- 郵送の場合は、期間末日の消印有効となります。

## 【募集期間】

令和6年3月4日（月）～令和6年3月22日（金）

# 事業の流れ



# 選考会について①

- 募集期間終了後、応募された事業を対象に「選考会」を開催します。  
(今年度は4月22日(月)を予定しています。)
- 選考会では、応募されたみなさまから事業内容を説明していただいた後、学識経験者等の審査員との質疑応答を行います。
- 選考会で使用する資料は、みなさまが作成された「実施概要書(様式第1号)」が基本となりますが、追加資料を提出したい場合は、11部作成の上、事務局まで提出してください。
- パワーポイントを使用しての説明も可能です。その場合は事前にデータを生活安全課へ提出してください。

## 選考会について②

選考会での「審査のポイント」の説明前に・・・

みなさんの活動 = 市民による「小樽のまちづくり」

「小樽市自治基本条例」

市民との協働によるまちづくりを進めるための基本的な  
ルール

「ふるさとまちづくり協働事業」の背景には、この「自治  
基本条例」がある

「小樽のまちづくり」で大切なことは

- ・誰もが参加することができる
- ・まちづくりの取り組みが広がっていく

こういったことをふまえて・・・

## 選考会について③

具体的に、選考会の審査では、下記の観点で評価を行います。

1. 公益性 → 取り組まれる事業が小樽市の公益に資するか？
2. 発展性 → 取り組まれる事業の今後の可能性や、事業が継続されるか？
3. 先駆性 → 小樽市の発展につながる新しい取り組みか？
4. 効果 → 取り組まれる事業の効果が大きいのか？

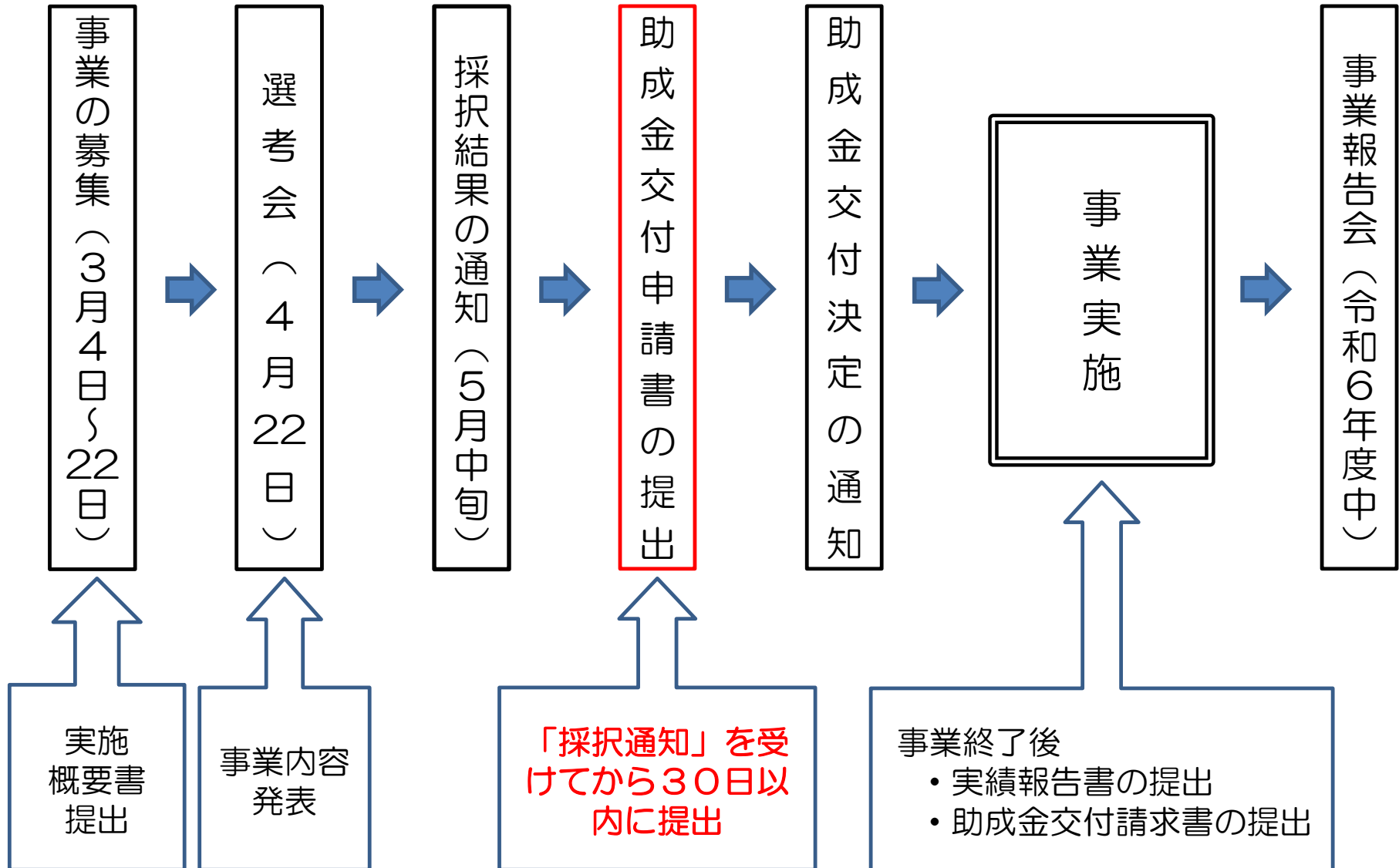
## 選考会について④

選考会で応募されたみなさまが発表する際の主なポイント

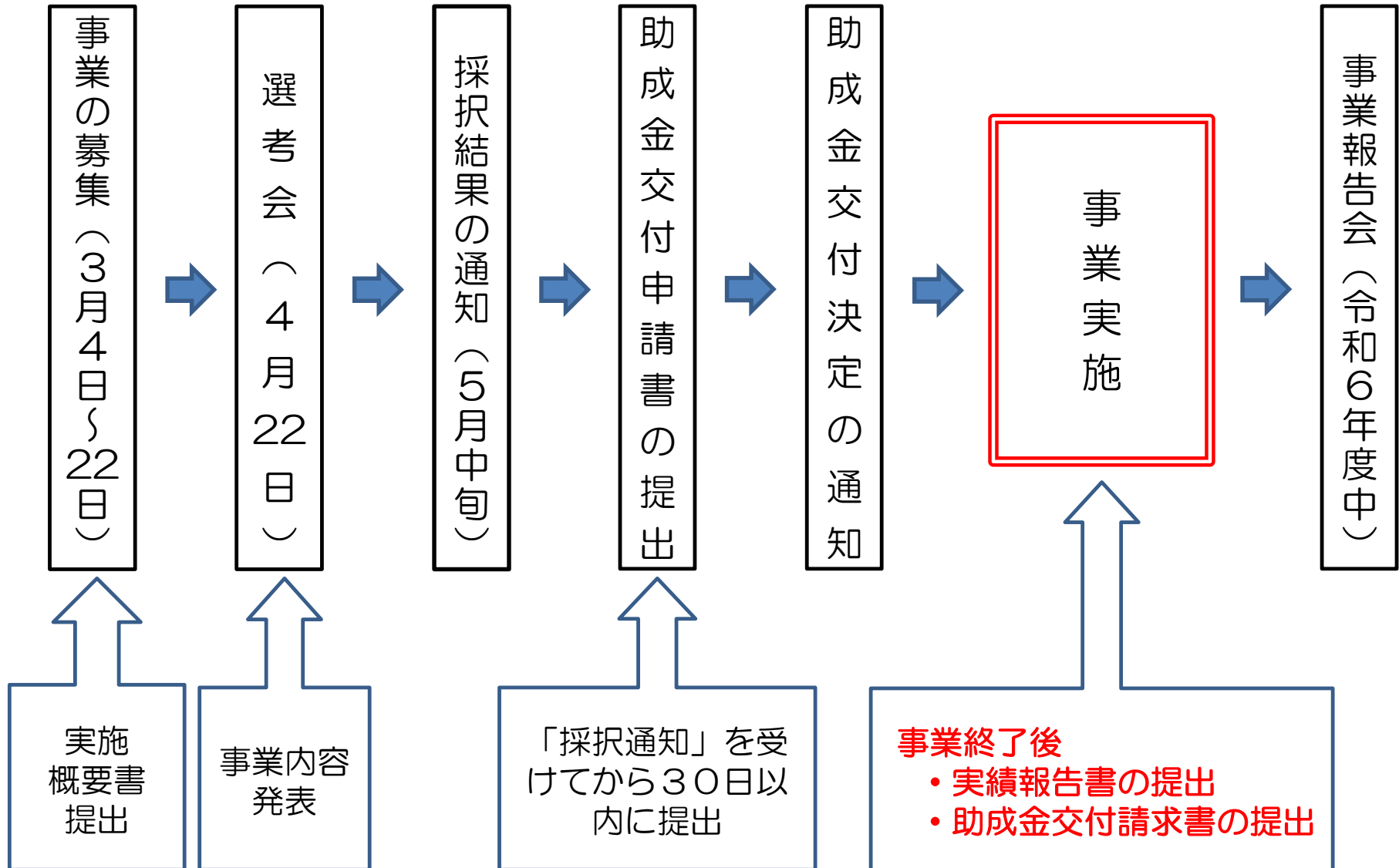
- 事業の目的
- それによって期待される効果
- 事業の具体的な内容
- スケジュール
- 予算の主な内容

発表時間が短い（5分間程度）ため、  
発表内容をあらかじめまとめておく事をお勧めします。

# 事業の流れ



# 事業の流れ





## 助成金の前払い（概算払）について

助成金の交付は、原則として事業終了後となりますが、事前に助成金の一部を受け取ることで円滑に事業が進められると認められる場合には、助成金交付予定額の2分の1を上限として、概算払を受けることができます。

# 事業内容の変更について

原則、助成金交付決定時の内容に沿って事業を進めていただくこととなりますが、やむを得ない事情等により、事業内容等が変更となる場合は、必ず事前に生活安全課にご相談ください。

## そ の 他

- 助成対象となった事業については、事業期間中、進捗状況等の確認を行うことがありますので、ご協力をお願いいたします。
- 助成対象となった事業については、小樽市の公式フェイスブック等にイベント開催告知や実施状況などを掲載することがありますので、ご協力をお願いいたします。
- 助成対象となった事業で、小樽市に後援を依頼する場合については、「生活環境部生活安全課」に後援依頼を提出してください。

## 最 後 に

- 申請書などの様式や、過去に助成を受けた事業内容については、小樽市のホームページにも掲載しております。  
（「小樽市 ふるさとまちづくり協働事業」で検索できます）
- ご不明な点等がありましたら、  
「生活環境部 生活安全課」へご相談ください。

TEL：0134-32-4111（内線226）